

地域に支えられた一中祭

例年、一中祭前に体育館の電球交換を行っています。今年も交換作業を行いました。

33個の電球のうち、13個の電球を交換しました。さらに、ブレーカースイッチの故障により点灯しない電球もありましたので、ブレーカースイッチも交換しました。正確には、電球もブレーカースイッチも“交換した”のではなく、“交換していただいた”のでした。地元のある企業が「地域貢献」「社会貢献」という名のもとに、ボランティア＝無償で作業をしてくださいました。部品代も作業にかかわる人件費もすべて無償です。

一中祭では、よさこいソーランの発表が行われます。迫力ある映像を撮影するため、建築現場で使用する足場を体育館に組み、それを撮影台としています。こちらも、地元企業のボランティア＝無償で、行っていただいています。天井に届かんばかりの撮影台が体育館後方にそびえたち、生徒の演舞を心待ちにしています。

作業終了後、2つの企業に校長先生が申し出ました。

「是非、ホームページや学校だよりで、このことを紹介させてください。

企業名を掲載し、作業の様子を写真で紹介させてください！」と。

すると、どちらの企業も丁寧にお断りになりました。

「私たちは、ボランティアでやっています。会社の宣伝はいりません。謹んで遠慮させていただきます。お気持ちだけ頂戴します。ありがとうございます。」と。

本当の、ボランティアというものを目の当たりにした瞬間でした。

岩内第一中学校と岩内第一中学校一中祭は、

このような方々をはじめとする多くの地域の方々、そして保護者の方々に支えられて、日々を過ごし、明日の本番を迎えることとなります。

感謝の気持ちは

心を込めた歌声～合唱～と、精一杯の演舞～よさこい～で、恩返しをしなければなりません。

一中祭テーマ『Go my own way』

136名全員が“ありがとう”の言葉を胸に秘め、それぞれが、それぞれの頑張りを披露します！

岩内第一中学校一中祭 明日 開祭です。